



Vol. 5
かぞくの本



紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2015年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



おかあさんの手

まはら三桃／作 長谷川義史／絵
講談社

おかあさんの手は、おりょうりしたり、おそうじしたり、いつも大きいそがしですね。みなみのおかあさんは、じょさんしをしています。ほうかごクラブのかえりみち、ふたりあかちゃんがうまれたとおしえてくれました。「あかちゃんのほかにもうまれた人がいます。それはだれでしょう？」みんなもかんがえてみてください。



あのね、わたしのたからものはね

ユードリイ／さく ミル／え かわいともこ／やく
偕成社

小学一年生のメアリー＝ジョーのクラスでは、まいあさだれかが、じぶんのたからものをきょうしつにもってきて、みんなにはっぴょうします。ジョーは、友だちの前ではなすのがとてもにがて、なかなかたからものをみせることができません。なやんだあげくにジョーがもってきた、たからものとは？



ごきげんなすてご

いとうひろし／さく
徳間書店

さんかげつまえ、おとうとがうまれてから、おかあさんはおとうとばかりをかわいがります。わたしのことなんかほったらかし。そこで、わたしは「かわいいすてご」になることにきめました。だって、すてきなおうちの子になりたいんだもの。きっとひろってくれる人は、あられるはずよ。



ねずみのオスカーとはるのおくりもの

リリアン・ホーバン／作 みはらいすみ／訳
のら書店

ゆきのつもるさむいふゆ、ねずみのかぞくは、はるにうまれるあかちゃんをむかえるじゅんぴをしています。おとうさんはあかちゃんのベッドをつくるためのわらや、たべものをさがしにいきましたが、二日たっても、もどってきません。ねこにつかまってしまったのかしら？ はやくぶじにかえってきて、おとうさん！

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ



盆まねき

富安陽子／作 高橋和枝／絵
偕成社

なっちゃんたち家族は、毎年お盆になると、笛吹山のおじいちゃんとおばあちゃんの家ですごします。親せきのおじさん、おばさんやいとこたちもやってきて、とてもにぎやかです。おじいちゃんが、ふしぎな話をしてくれました。本当の話なのかなあ？ずっとつながっていく命の大切さを感じられる一冊です。



アンナのうちはいつもにぎやか

アティヌーケ／作 ローレン・トピア／絵 永瀬比奈／訳
徳間書店

アンナ・ハイビスカスはアフリカの女の子です。大きな家に、ぜんぶで何人いるかわからないくらいの大家族でくらしています。今の私たちには、想像しにくいかもしれません。だけど、いつもにぎやかでとても楽しそうです。日本とはちがうアンナの国の文化や習慣を知ることで、家族についてもう一度考えてみたくなります。



かめきちのたてこもり大作戦

村上しいこ／作 長谷川義史／絵
岩崎書店

かめきちが公園に行くと、ひとりさみしそうにしているしんごをみつけた。「かあちゃん、おれのさみしい気持ちなんか、ちっともわかってくれへん」と言うしんごに、かめきちは「だいじょうぶや」とつい言ってしまった。しんごの気持ちをわかってもらうため、かめきちの考えた「たてこもり大作戦」っていったいどんなの？



あたしが部屋から出ないわけ

アメリカー・クレーテュール／作 末松氷海子／訳 小泉るみ子／絵
文研出版

リュシーは、部屋にかぎをかけてとじこもってしまいました。大きなおばあちゃんが無くなって、お父さんと新しいお母さんと小さな弟ルカと、いっしょにくらすことになったからです。新しい家族になじめないリュシーでしたが、小鳥のサクランボちゃんの歌を聞いている時だけ、気持ちがおちつくのです。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



ロード キャンピングカーは北へ

山口理／作 佐藤真紀子／絵
文研出版

おれは久斗、小学六年生。うちの父ちゃんは、ドジでおひとよし。それなのに母ちゃんは、いつも笑顔でうけとめている。どうして腹が立たないのか不思議でしょうがない。中学二年の姉ちゃんは、そんな父ちゃんを冷めた目で見ているし……。ある日父ちゃんが会社をクビになってしまった。うちの家族どうなるんだ！



トモ、ぼくは元気です

香坂直／著
講談社

ぼく、松本和樹は中学受験をひかえた小学六年生。障害をかかえる兄の友樹をめぐって、ぼくのイライラはつのるばかり。そんなわけで、夏休みのあいだ祖父母の家ですぐすことになった。いつもと違う特別な夏休み、長いようで短い四十日間をぼくはどんなふうにするかことになるんだろう。



愛の一家 あるドイツの冬物語

アグネス・ザッパー／作 遠山明子／訳 マルタ・ヴェルシュ／画
福音館書店

ペフリングー家は、陽気な音楽教師の父親と思慮深くやさしい母親、そして個性豊かな七人の子どもたちの大家族。この一家にもさまざまな騒ぎがもちあがりますが、どんなことがあっても、家族お互いに助けあって乗りこえていきます。みなさんもこの一家を、きっと好きになるでしょう。

「紙ひこうき」を手にとってくださった方へ

今回のテーマは「かぞく」とても身近な存在ですね。
大切な人だとわかっているけれど、時々うっとうしいこともあるかもしれない。でもそんな時は、思い出して下さい。
おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん……。
いつでもあなたを見守っていますよ。

